



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111 (内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.family.ne.jp/~k-itou/index.html>

放射能汚染から区民の健康を守る条例案を提出

日本共産党

放射性物質検査機器の設置と区民参加型の汚染対策推進協議会条例案

足立区議会第3回定例会の3日目、9月19日に日本共産党は議員提出10号議案・

足立区放射能汚染対策推進協議会条例案と、議員提出11号議案・

食品衛生検査施設に「放射性物質検査機器」を加えることを求める条例改正の2議案を提案しました。

日本共産党足立区議団を代表して、10号議案・提案理由を説明した針谷みさお議員の提案は以下の通りです。足立区議会には「放射能汚染から



日本共産党が行った放射能測定調査
区民とともに大島都議 2011.7.15

子どもの健康を守るための陳情」をはじめ9つの陳情が提出されています。提出署名数は15700名を超えていますが、いずれも、足立区に対して、放射線測定器の区民への貸し出し、区内の小・中学校及び保育所・幼稚園での放射線の測定と測定結果の公表、土壌検査、食材の内部被ばく防護策などを放射能汚染対策を求めています。

東日本大震災後の福島原子力発電所の事故らしい、区では空間放射線量の測定に取り組み区内の学校など公共施設等350施設、公園等498施設を測定し、指標値以上の数値を測定した173施設において、低減対策をとりましたが、民地の測定は行っており、放射線測定器の区民への貸し出しも行っておりません。また、土壌検査も未実施のままです。

学校給食等の放射能測定については、2012年1月に学校、保育園など15施設で食材の検査を実施し、放射性物質は不検出となったため、安全性は確認したとして、以後、測定を行っていません。

しかし、足立区の検査は、暫定基準値(1kg当たり500Bq)の適用期間内に行われたもので、昨年4月からの新基準値(1kg当たり100Bq)になつてからは、1回も検査が行われていません。

東京都内では品川区(保育園)の牛乳から放射性物質が検出されたほか、千葉市の給食の食材(千葉県産のニンジン・豚肉・サツマイモ、群馬県産のキャベツ、長野県産のシメジ・エノキダケなど放射性物質検出

の報告が続いています。チェルノブイリ原発事故以後、25年経過し、子どもの甲状腺がんをはじめ、健康被害が報告されています。放射性物質によって健康を害する確率が高まることは、これまでの研究で科学的に有意なデータが示されています。

今、福島原発では放射性物質が漏れて、地下水を汚染しています。さらにその汚染水が海へ流出し続け、いつそう放射能汚染が深刻になっていきます。安倍首相が胸を張った「状況はコントロールされている」「完全にブロックされている」どころか放射能汚染の拡大を制御できない非常事態に

区議会報告・懇談会

議会報告と地域のみなさんとDVDなど見ながら楽しく懇談します。気軽においでください。

大島よしえ都議 伊藤和彦区議

- 10月13日(日)午後2時~4時
西保木間小学校・1階 多目的室
- 10月19日(土)午後1時~3時
淵江小学校・1階 会議室
- 10月20日(日)午後1時~3時
竹の塚小学校・1階 会議室
- 10月26日(土)午後1時~3時
花畑中学校・1階 会議室

暮らしなんでも相談会

10月4日(金)午後2時から4時
場所・楓センター(保木間3-17-13)
医療・介護の専門家も一緒に相談を受け付けます。
問い合わせは
070-6642-2851 伊藤区議まで

日本共産党 の提出議案

東京都内でも最も汚染されている地域の1つになっています。そのような状況の中、足立区の放射能対策予算は24年度以降ゼロであり、専任組織も専任の職員もひ

とりにくいのです。区民の不安を解消する対策を求める陳情があいつぐのは当然です。今年6月、あらたに提出された陳情に次のようなくだりがあります。「足立区はこれまで、一流シェフを学校に招くといった庶民感覚とはかけ離れた多額の公費を支出して「全国一おいしい給食」を推進してきました。こうした一流シェフを雇う多額の予算があれば、児童の安全・安心や健康被害を防ぐ観点から、給食の放射性物質検査に予算を投じることも可能ではないでしょうか。今後、一時的なパフォーマンスに走ることなく、地道に児童の健康問題や保護者の不安を払拭することに

区は放射能汚染を把握し対策強化を図る 子どもと区民を守る推進協議会を!

を継続して実施しており、足立区の取り組みは大きく遅れている状態です。こうした立場に立つことが求められています。足立区内にはホットスポットと呼ばれる地域が多数存在し、

本条例は足立区の放射能汚染対策を抜本的に強化するため、区長の諮問に基づいて第一に放射能汚染状況把握の推進に関すること。第二に放射能汚染対策の推進に関すること。第三に子どもの健康被害防止対策の推進に関するほか、必要な事項を協議し、答申します。さらに、放射能汚染対策の推進に関する総合的施策の適切な実施を期するために

取り組まなければ、「全国一「まずい」給食」になりかねません。」と揶揄されています。

必要な事項について、区長に建議することができると規定を設けています。協議会の組織は学識経験者、公募委員、区議会議員なども含めて20名以内としています。

議員各位におかれましては、わが国が経験したことがない原発事故から区民を守るために全国に先駆けて設置する区民参加の協議会条例にこ

2年半になりますが、汚染地域(ホット

を望に定める姿勢がないこと。区のか

物質測定器を設置して食品の放射性を測定し、区民の安全・安心を守るために提出するものです。

放射能汚染に関する不安は原発事故当初から区民に広がり足立区議会には放射能に関する陳情が9団体、個人から提出されています。区は

住民賛歌 ⑤ 伊藤和彦

不屈にたたかった人々
都議選、参議院選では沢山のドラマが生まれました。参院選は私の宣伝カーが使えないので、猛暑の中「メガホン宣伝隊」を組んで商店街、団地、スーパー店前などで『きらきら輝く吉良よし子』とコールしました。熱中症にならないように注意をしながら、センターに戻ってくると「おもしろかった、反応よかった」との感想。みんなで思いを一つにして頑張りました。



いま安倍内閣の政治に対して、消費税増税、原発再稼働、憲法改悪など「どうも危ないぞ」と、不安感、危機感を感じて、その時に「自共

対決」で安倍政権の暴走に正面から対決する「受け皿政党」が消滅してしまっ

参議院選挙の結果、全国で515万票(9.7%)を獲得しました。「苦節15年の努力が実った」のです。この躍進は自然に起ったものではありません。どこからか「風」が吹いて起ったものでもありません。この十数年、みんなで不屈の活動が積み重なって実ったものです。

選挙結果に自信と確信にしながら、参議院選挙でつくりだされた影響力のひろがり